

## 裾野麗峰山の会山行報告書

文・掛橋智美 写真・浜道、掛橋

山行番 NO. 1591-2  
日 時 2014. 4. 27 (日) 晴  
山 域 上州・十二ヶ岳(1201m)～小野子山(1208m)  
標高差 上り=けぬき沢登山口約600m～十二ヶ岳(1201m)=約601m  
下り=小野子山1208m～赤芝登山口約798m=約410m  
(更にR36まで下った)  
参加者 庄野、浜道、掛橋=3名、後藤(車支援隊)  
コース 駐車場発8:15-入道坊主8:30-十二ヶ岳9:30-中ノ岳10:00-  
小野子山10:45-赤芝登山口11:25-県道36号12:30  
合計時間 約4時間15分

春山合宿の二日目は十二ヶ岳から小野子山、雨乞山への縦走の予定だった。リーダーのG殿は、昨日下山時に足を痛めて、今日の山行は大事を取って車の支援隊を務めてくれた。(車支援隊のG殿が、今日の山行の神様となろうとは、、、、)

今回の山行の地図が家の近所の地形図のお店にはなかった。しかし、案の状、H姫はしっかり準備してくれていた。宿から40分ほど下り、R353で登山口を探すのが分かり難かった。吾妻線・小野上駅からけぬき沢を遡り、貯水池上の駐車場から上り始める。既に県外車が数台止まっていた。

その地図をたよりに、S野リーダーを先頭に今日の目的のお花を見る山歩きが始まった。歩き始めると、何種類かのお花があった、H姫と写真を取りながら、ルンルンで歩いた。大きな岩の入道坊主を過ぎると、直ぐに急勾配となった。駐車場で送りだしてくれたG殿からの「ゆっくり・サクサク登って来るように」との言葉、ひたすら登った。真新しいお花もないので登る登る。

十二ヶ岳と中岳の分岐に出た。予定では、十二ヶ岳。初めにG殿のサクサク登る指令があったので、十二ヶ岳に行くべきか確認の電話をした。「もちろん行って来い」とのこと。十二ヶ岳に向かうと、男坂、女坂とあった。距離は男坂が短い。と言うことは急勾配か?が、今日はサクサク登る。迷わず、男坂を選んだ。男坂は岩場にはロープもあり、根っこも掴みながらの急勾配だった。登り終わると360度のパノラマが広がった。何故か、緑の旗が立っていた。昨日登った谷川岳も良く見えた。今から行く予定の山も見えた。休憩もそこそこで、女坂を下った。ここにはG殿の指令のかたくりの花を見ることが出来た。(写真を撮ったつもりが何故か写っていないのが残念)

先程の分岐に戻り、サクサク登る指令の下、中ノ岳へと向かった。また、かなりの急勾配であった。中ノ岳の頂上は展望がほとんどなく、先を急いだ。何度か、登り下りを続け、小野子山に向かうであろう急勾配の下で小休憩を取った。予定より40分遅れの駐車場での出発だったが、時間を確認してみると、中ノ岳頂上で予定どおりとなっていた。サクサク登っているようだった。カロリー補給をして小野子山へ向かった。



十二ヶ岳



東一華・菊咲一華??

小野子山頂



この急勾配は、地図上の登山道を点々で表しているように、木の根っこで登る道が真っすぐで点々となっているように見えた。小野子山頂上からは、木々の合間から十二ヶ岳の緑の旗、谷川岳が見えた。真新しい山頂の標識、(実はこのすぐ横に本当は向かうべき道があったが方向表示がされていなかった)。G殿に連絡を取り、山頂の大きな道標と地図を頼りに最後の雨乞山に向かった。(つもりだった。)

雨乞山になかなか着かなかった。何度かS野リーダーも地図を確認していた。地図ではずっと尾根を下る予定。だが、林の中の道を下っていた。標高はまだ雨乞山には達していないとのこと。

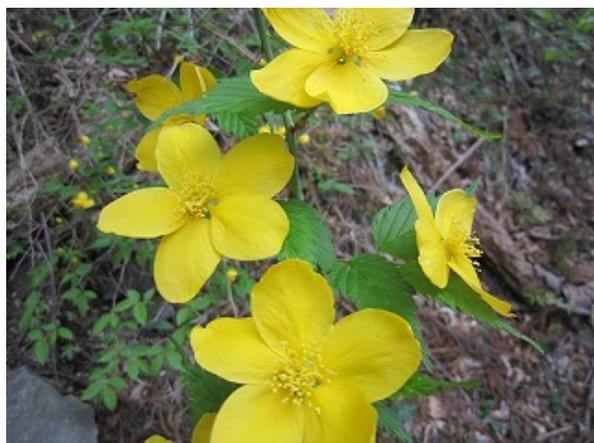
地図を見せてもらった。雨乞山への道は、十二ヶ岳を右後方に見て小野子山から下るように見えた。でも、私達は十二ヶ岳を後ろに下ったようだった。

間違いに気づいた時には、かなり下っていた。赤芝登山口の道標があったが、予定表にはそんな場所は書かれていなかった。地図にも地名がないため、何処に下りて来てしまったのか分からなかった。

登山口に出ると、人がいた。地元の人ではないらしく、詳しく分らなかった。次はトレイルランナーらしき人に聞いてみた。とても親切な人で、自分の地図を車から出してきて、場所を説明してくれた。G殿に連絡して迎えに来てもらえることになった。そして、国道まで歩くと、G殿と合流出来た。

今回の山行はG殿が足を痛めて車の支援隊をしてくれたので、下りる道を間違えても、何とか無事に帰って来ることが出来ました。

G神様、トレイルランナー神様に感謝です。ありがとうございました。



山吹？



片栗





小野子山方位版

#### その他の記述（サポート隊・後藤）

1. R353から、けぬき沢経由の登山道口は分かり難い。
2. 雨乞山登山道口も分かり難い。ただ、駐車場は立派でトイレあり。
3. 登山隊を待つ間、寺を訪ねたり、フキを取ったりだった。このフキは、中が空洞で美味しかった。
4. 登山隊に各ポイントで携帯を貰った。小野子山まで連絡はあったが、その後無かった。
5. 結果分かったことは、小野子山から北西に下ったので山陰で携帯が不通になったようだ。
6. 雨乞山は、小野子山から真南に下る。コンパスで確かめれば、展開は変わっただろう。
7. 登山隊が下った赤芝コースは、最初はほぼ北に下る。道標がなかったとはいえ、気が付かなかった。思い込みは怖い。
8. 道間違いは、私が行けなかったこと・確りした地図がなかったこと・コンパスで方位を確かめなかったこと・道標がなかったこと・初見の山、などが原因か。
9. 赤芝コースの最初の林道までの標高差は、小野子山から約400m。途中で気が付いたら引き返すがベストだろう。
10. そうしなかった（出来なかった）のは、車のサポートがある安心感か。
11. 仮に車のサポートがなかったら、最寄りの最近駅は吾妻線・金島駅で2時間は掛かった。
12. 山道の下りは、慎重の上にも慎重にである。初見の山の場合、時に要注意。オカシイと少しでも感じたら、疑いを持って皆にも相談して判断する。イケイケドンドンと思い込みが一番怖い。

以上



以上